国内における合流式下水道改善に関する取り組み 概要）

全国 192 都市の合流式下水道の諸元に関する調査を行い，合流式下水道の実態の把握を行った。

注）自然吐き口の集計について，東京都，京都市等の不明な箇所のデータは除外している。また、越流回数については、１日を１回としている。

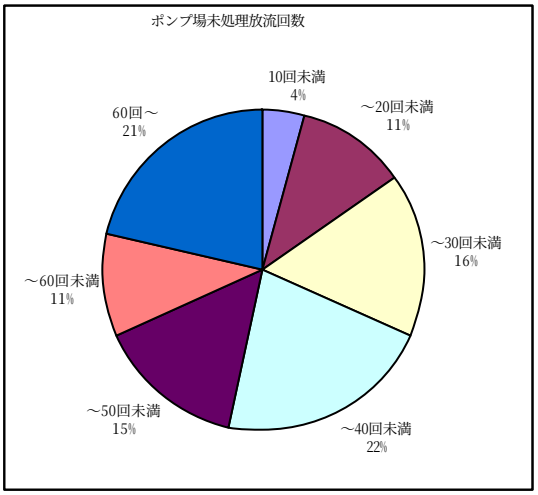
（１）越流水の年間放流状況

ポンプ場における越流水の年間放流状況は，10 回未満までは約 4%，20 回未満までは約 11%，逆に 30 回以上は約 69%となっている。

注）自然排水区域については正確なデータがない状況である。

①ポンプ場年間越流回数

越流回数	箇所数	%）
10回未満	16	4
～20回未満	42	11
～30回未満	62	16
～40回未満	82	22
～50回未満	55	15
～60回未満	40	11
60回～	81	21
計	378	100

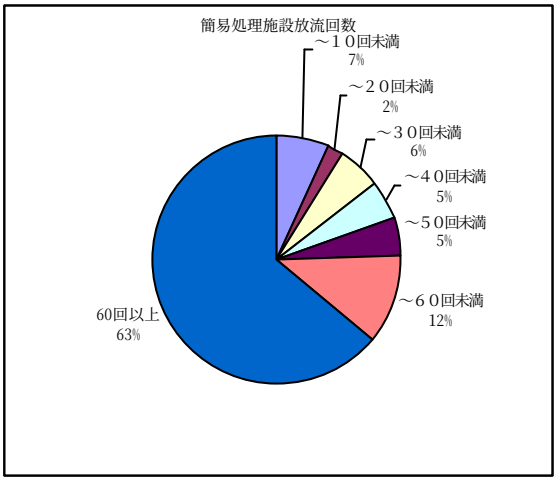


（２）簡易処理の状況

終末処理場の簡易処理方式は，ほとんどの箇所で沈殿処理＋塩素消毒が行われている。また，簡易処理放流回数は，60 回以上の処理場が約 63%を占め最も多く存在する。

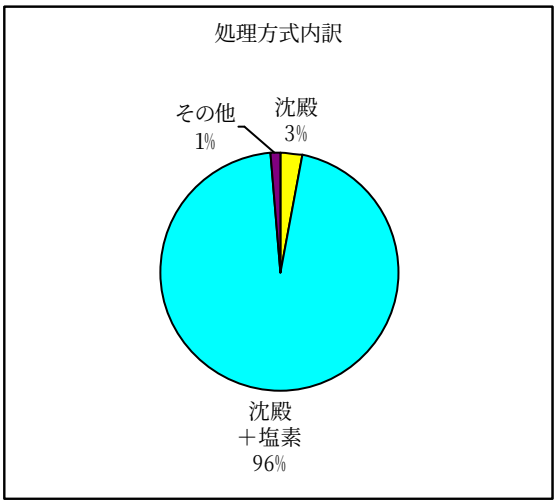
放流回数	箇所数
～10回未満	12
～20回未満	4
～30回未満	10
～40回未満	9
～50回未満	9
～60回未満	21
60回以上	115
計	219

※未回答＝ 39箇所

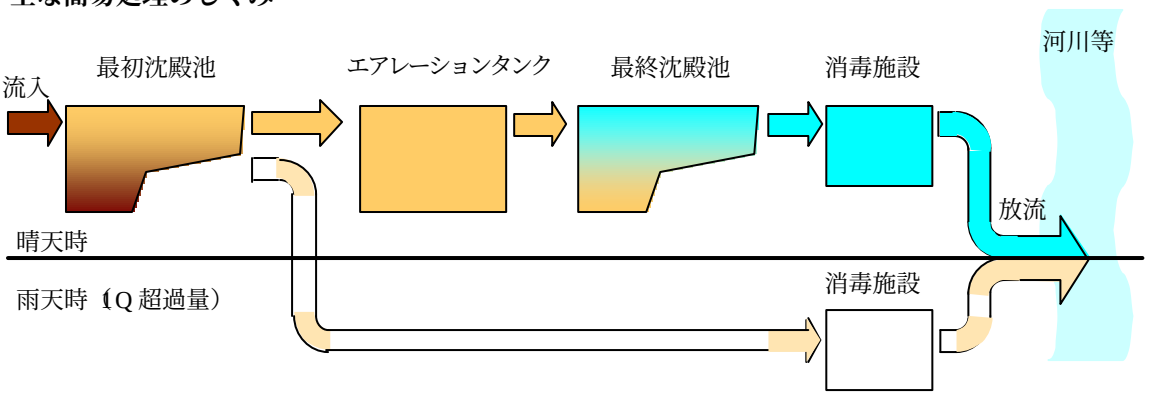


処理方式	箇所数
沈殿	6
沈殿＋塩素	186
その他	2
計	194

※未回答＝ 98箇所



主な簡易処理のしくみ



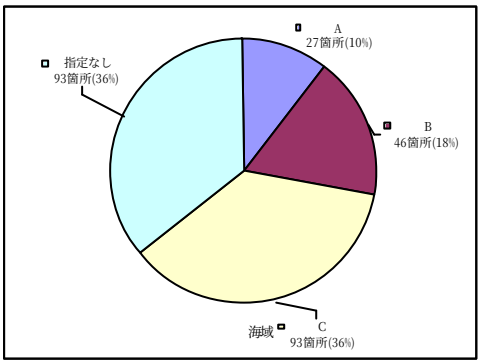
（3）放流先の水質環境基準設定状況と達成状況

放流先水質環境基準の設定状況は，海域が 64%，河川が 74%，湖沼が 100%設定されている。その設定の内訳では，湖沼が最も厳しく AA 類型が 96%を占めている。それに対し，河川や海域では，AA 類型はないものの概ね幅広い類型指定となっている。

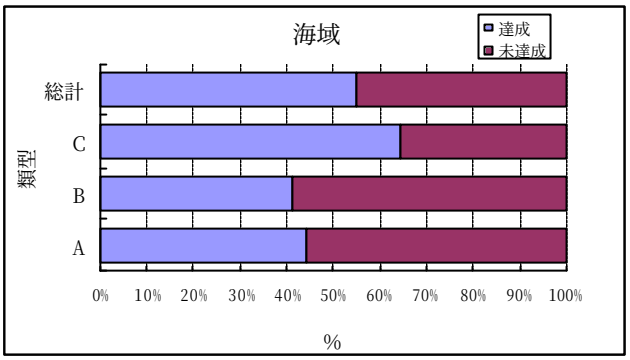
水質環境基準が設定されている越流水の放流先については，海域と河川では，概ね 55%程度が水質環境基準を達成している程度である。湖沼については，全く水質環境基準を達成していない。

注）水質環境基準の設定状況は，回答が得られたデータのみで作成している。

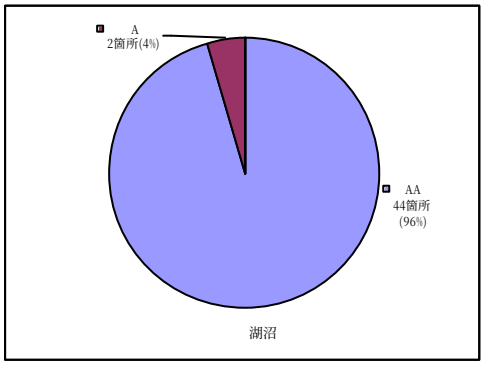
海域の水質環境基準設定状況



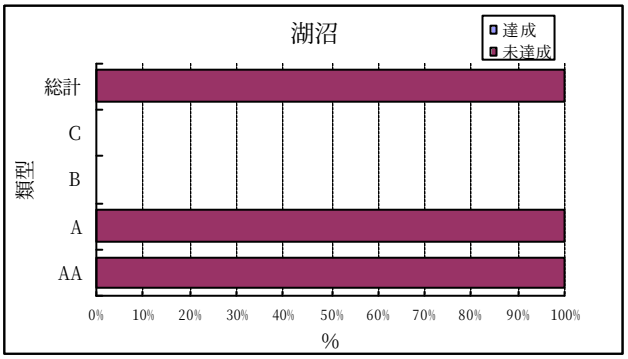
海域の水質環境基準達成状況



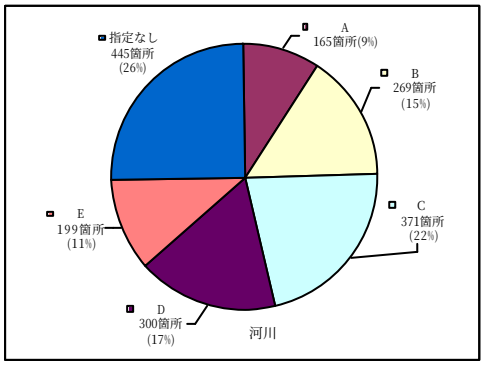
湖沼の水質環境基準設定状況



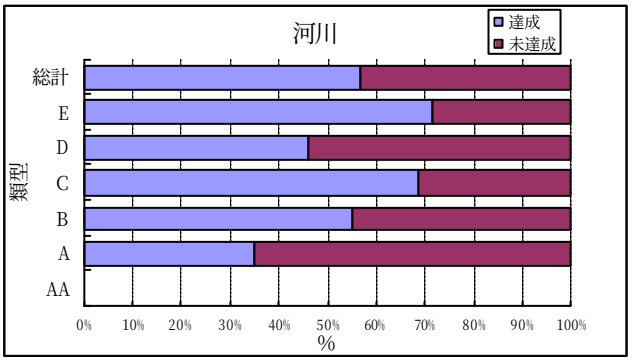
湖沼の水質環境基準達成状況



河川の水質環境基準設定状況



河川の水質環境基準達成状況

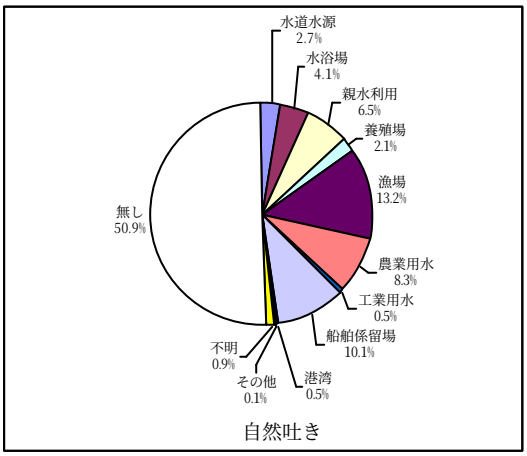


（4）放流先の水利用の状況

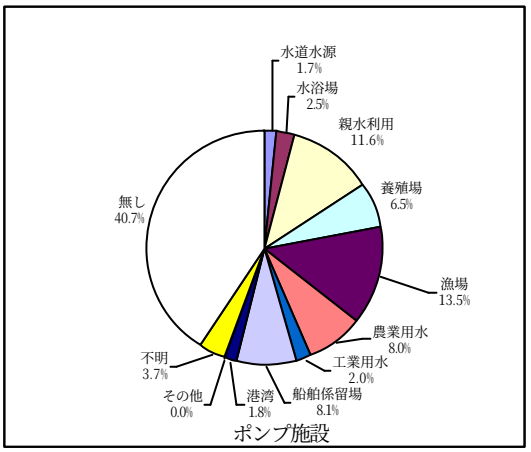
合流式下水道の吐き口下流にある水利用状況について，主な例として水道水源 90 件，水浴場 128 件，親水利用 249 件存在している。また，全箇所 3,339 のうち，約 48%にあたる 1,600 箇所は水利用が存在していない。

注）今回のデータは，回答があったものだけで作成しており，複数回答もある。

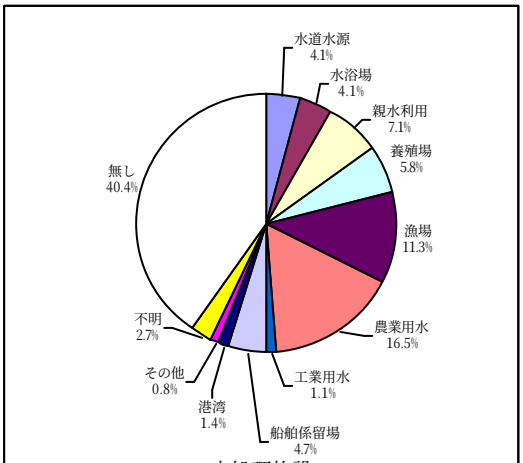
水利用状況	自然吐き		ポンプ施設		水処理施設		全体	
	箇所数	%	箇所数	%	箇所数	%	箇所数	%
水道水源	65	2.7%	10	1.7%	15	4.1%	90	2.7%
水浴場	98	4.1%	15	2.5%	15	4.1%	128	3.8%
親水利用	153	6.5%	70	11.6%	26	7.1%	249	7.5%
養殖場	49	2.1%	39	6.5%	21	5.8%	109	3.3%
漁場	314	13.2%	81	13.5%	41	11.3%	436	13.1%
農業用水	196	8.3%	48	8.0%	60	16.5%	304	9.1%
工業用水	13	0.5%	12	2.0%	4	1.1%	29	0.9%
船舶係留場	239	10.1%	49	8.1%	17	4.7%	305	9.1%
港湾	13	0.5%	11	1.8%	5	1.4%	29	0.9%
その他	2	0.1%	0	0.0%	3	0.8%	5	0.1%
不明	22	0.9%	22	3.7%	10	2.7%	54	1.6%
無し	1,207	50.9%	245	40.7%	147	40.4%	1,600	47.9%
計	2,371	100%	602	100%	364	100%	3,339	100%



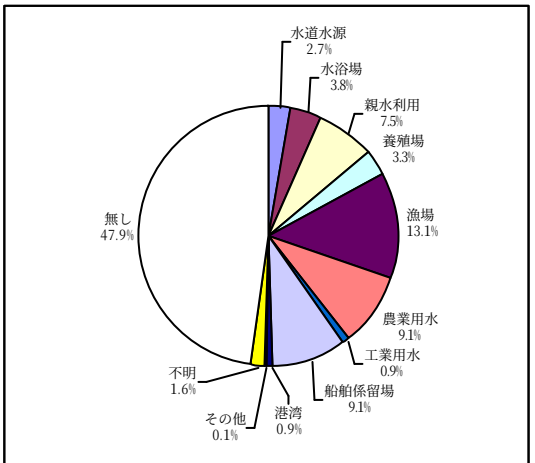
自然吐き



ポンプ施設



水処理施設



全体

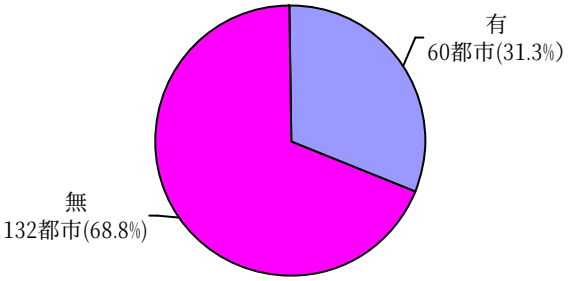
※その他の水利用；火力発電所，消雪用水等がある

（５）合流式下水道改善計画と施策の実施の状況

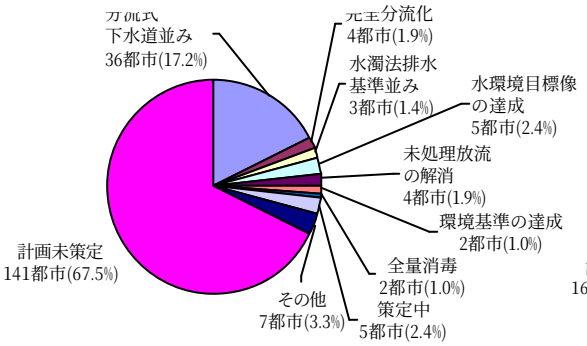
合流式下水道改善計画は約 1／3 の 60 都市で立案されている。各都市で立案されている長・中期計画は，分流式下水道並みの負荷削減が多く，短期計画では，管渠の増強（浸水解消）と夾雑物対策が最も多くなっている。

注）流域下水道の状況については含んでいない。

・改善計画の立案状況

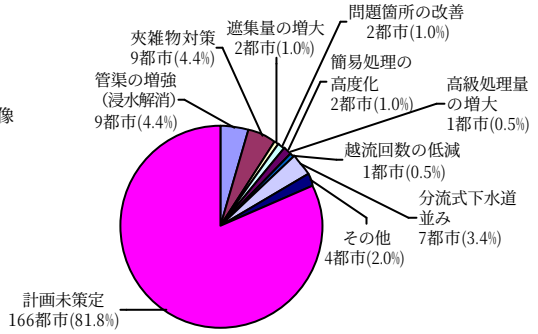


合流式下水道改善計画の有無



注）複数回答あり。

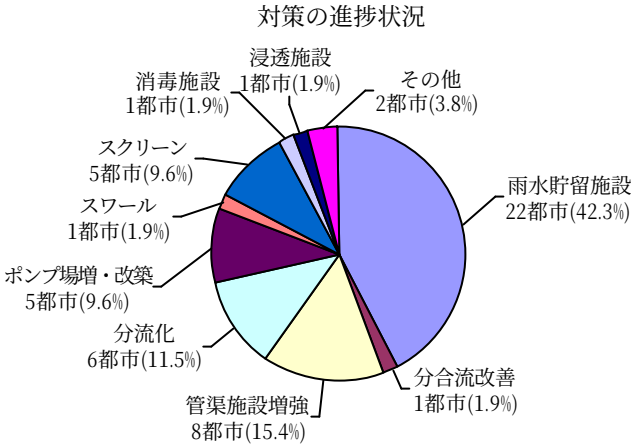
改善計画の目標設定（長期・中期）



注）複数回答あり。

改善計画の目標設定（短期）

（6） 対策の実施状況

合流改善対策として対策を実施している都市は，36 都市，19%を占め，未実施都市は 156 都市となっている。雨水貯留施設の設置が，最も多く，その他，管渠施設の増強も多く行われている。

注）流域下水道の状況については含んでいない。回答については，複数回答もある。